

平成29年6月19日開催 県政ランチミーティングに寄せられたご意見への対応状況について

1 開催概要

- ・開催日 平成29年6月19日(月) 12:00～13:00
- ・会場 長野県庁3階 第三応接室
- ・参加グループ 長野県芸術文化協会
- ・懇談内容 文化芸術に親しむ人々の拡大と文化芸術団体の役割について

2 参加者のご意見の概要と、ご意見に対する対応状況

(1) 芸術文化に若者をどう取り込むかについて

(ご意見の概要)

芸術団体と学校との連携がとれていない。我々が主催する芸術文化フェスティバルなどへの参加についても、学校と連携して、若いうちから一般の人たちに交じって、お互いに切磋琢磨することで、将来的に芸術文化に携わってもらえる。

若いうちから芸術に触れることができれば、将来の芸術振興の拡大につながるので、学校と団体との橋渡しとなる窓口が教育委員会にあれば有り難い。

(知事の発言)

積極的な若者も多いので、いろいろな機会を与えてあげれば、自らやる子がいると思う。県がコーディネーター役を果たすべき。

(ご意見等に対する対応状況)

長野県では、県民芸術祭において、参加団体が実施する子どもや、今後の芸術活動を担う若年層を対象とした体験・参加・指導等の次世代育成事業に対して、助成を行っています。

今後も、芸術文化団体と連携して、子どもや若年層の文化芸術活動に触れる機会の拡充に取り組んでまいります。

【担当課：県民文化部文化政策課】

優れた文化芸術に触れることは、豊かな感性に恵まれた児童生徒を育むために重要であり、児童生徒が参加できるフェスティバルなどのイベントの開催通知をいただければ、学校に対して情報提供してまいります。

【担当課：教育委員会事務局教学指導課】

(ご意見の概要)

芸術文化は、まず鑑賞からはじまるので、バレエなどの芸術は、来て、観て、触れる機会を作っていただきたい。

高齢の方も一緒にできるイベントや、県と協働してうまくできるようなシステムを作れないかと思っています。

(知事の発言)

学校教育の中で、いろいろな文化芸術に触れ合う鑑賞の機会をつくるのが大事。一度も経験した事がないものの好き嫌いは判断できない。

(ご意見等に対する対応状況)

長野県では、児童生徒の皆さんの鑑賞機会の拡大のため、文化会館から学校への派遣活動や、セイジ・オザワ 松本フェスティバルの「子どものための音楽会」等の開催支援に取り組んでおります。

文化芸術団体と学校、行政との協働のあり方や、必要な助成などの支援のあり方については、今後検討してまいりたいと考えております。

【担当課：県民文化部文化政策課】

(2) 芸術文化に触れる機会が少ない方にどう芸術を届けるかについて

(ご意見の概要)

認知症の進行を遅らせるためには、芸術を通じて何か作ることが有効という説もある。高齢化が進む中で、健常者だけでなく高齢者や障がいのある方も前向きに生きていくのに芸術文化の力が有効。

施設に公演に行けば、入所者だけでなく職員の方にも喜ばれるので、活用してもらえれば有り難い。

(ご意見等に対する対応状況)

長野県では、来館して鑑賞することが困難な医療機関、福祉施設、養護学校などの方に鑑賞機会を提供するため、訪問演奏などを行う取組を進めています。

今後も、誰でも文化芸術に参加することができるよう、鑑賞機会の拡大に取り組んでまいります。

【担当課：県民文化部文化政策課】

障がい者芸術の関係者等と指導者の派遣などについて検討してまいりたい。

【担当課：健康福祉部障がい者支援課】

(3) その他について

(ご意見の概要)

文化芸術は宣伝しようとしても、掲示スペースも限られ、目にする機会も限られている。

(ご意見等に対する対応状況)

長野県では、県下の文化会館、創造館などの文化施設を地域の文化芸術活動の発表・展示の場として活用いただいています。今後も、鑑賞機会の拡大に向けて、文化施設の有効利用、活動内容の広報に取り組んでまいります。

【担当課：県民文化部文化政策課】

3 問合せ先

企画振興部広報県民課県民の声係

電話 026-235-7110

FAX 026-235-7026

E-mail koho@pref.nagano.lg.jp